

平成26年度 第2回学校協議会 記録

日時：平成26年11月19日（水）15：30～17：00

場所：本校 高等部棟2階 図書室

参加者：学校協議会委員
学校協議会事務局
各分掌部長 医療的ケア安全委員長

1 学校長挨拶

- ①2学期様々な活動の紹介。
- ②来年度にむけての取り組み
- ③第2回目の学校協議会の内容について、ご意見等よろしく申し上げます。
- ④現在の支援教育の流れ

2 学校協議会委員紹介、事務局紹介

3 会長挨拶

- ・インクルーシブ教育について
- ・本日の協議会、私も学びたいとのこと

4 今年度の学校経営計画の進捗状況について

- 校長より 個人情報紛失について説明
- 各部資料に沿って説明。最後に質疑応答を行う。
 - 委員) 高等部生徒数の減少について
 - 事務局→) 生徒数多い年で全校で230名程、それに伴い教員も多かった。現在の高等部の生徒数54名。校区変更により門真市の校区が寝屋川支援学校に変更になったことが考えられる。
 - 事務局→) 高等学校の学びの場が増えた。専修学校・一般校への進学も考えられる。
 - 委員) 若手研修についてどのように取り組んでいるのか？
 - 事務局→) 若手教員の授業をビデオに撮影。大学の先生に依頼し研修にて活用。良いところ、改善するところを色分けした付箋に記入。グループ協議後発表を行った。

委員) 研修を行うにあたり、各部の交流は行っているのか？

→) 必要に応じてお互いの情報交換を行っている。

委員) 計画相談について門真市、守口市どのように行っているのか。

進路→) 計画相談については本年度…守口市：実施 門真市：見送り

5 授業アンケートの結果について

- ・授業アンケートを6月に実施。対象は、小学部は保護者、中学部・高等部は、生徒又は保護者。両方が提出されれば、生徒を優先。
- ・保護者用の質問項目を一部わかりやすく変更した。
- ・生徒用の評価方法で、B「だいたいそう思う」とC「あまりそう思わない」の違いが生徒にとってはわかりにくいということもあり、C「あまりそう思わない」はなくした。
- ・中高と比較し、小学部が高かった。さらに小学部の中でも、高学年の方が全般的に高い数値を示した。
- ・本日の学校協議会后、後日全教職員に説明する。
- ・改善したほうがいい点

アンケートの提出数が少なかった。小学部 34%(H25年度 57.8%)、中学部 52.4%(H25年度 42.9%)、高等部 35.2%(H25年度 34.8%)。

回収期間の長さが影響しているとも考えられるので、検討を加え、提出数を増やせるよう働きかける。

- ・質問項目の①「お子様は意欲的に課題に取り組みましたか」、③「説明や提示は、わかりやすかったですか」は高い傾向で②「学習内容は、お子さんあっていましたか」、⑤「言葉かけなどは、適切なものでしたか」は低い傾向。②、⑤は子どもに聞くことが求められているので低い傾向にあるのかもしれない。

6 学校教育自己診断について

【保護者用】

- ・実施期間は12月2日(火)～12月19日(金)。第3回学校協議会で結果を報告する。
- ・昨年度提出率は、小学部60%、中学部57%、高等部58%、全体58%だった。一昨年は全体で72%だった。14%下がったことになる。今年度は保護者向けプリントで提出を促していきたい。
- ・質問項目については、昨年度と比較検討するため変更はなし。

【教職員用】

- ・実施期間は、保護者用と同じく12月2日(火)～12月19日(金)。第3回学校協議会で結果を報告する。

- ・提出率が一昨年は32%だったのが、昨年は70%まで上がった。大幅増。提出する際、名簿にチェックをするようにした。今年度も同じようにしていきたい。
- ・質問項目については、昨年度と比較検討するため変更はなし。

7 その他

委員) 学校の取り組みについては、時代の変化に合わせて様々な変更を余儀なくされている。その中でよく頑張っておられる。感服する。今後ともよろしく願います。

委員) ハローワークとしては、就労として守口支援学校と関わらせていただいている。守口市立の中学校と守口支援学校高等部との連携が大阪府下全部に広がったら良い。守口支援学校の取り組みに期待したい。

委員) 研修をたくさんしていただいているが、PTAとしても来年に自閉症に関する映画の上映をしたいと考えている。DVDをお借りする前日・当日に先生方にも見ていただけたら。

委員) 保護者・生徒の声を聞きながら取り組みが進んでいる。地域との連携も密にされている。春と秋に各支援学校に行っているが、ICT、iPadの活用がどこでも進んでいる。必ず必要なことなので支援学校の生徒も慣れていくことが大切。同じく視覚支援カードも流行っているが、慣れて使えるようになることが大切。ICT教育については、メリットもあるがリスクもある。バーチャルの世界で授業が完結してしまう。例えば、理科の実験をテレビですると、体験が薄れてしまう。ICTの活用も大切だが、実体験をどれだけ積めるかも大切なことである。

委員) 細かく計画を立てられている。守口市の学校でも経験が浅い先生が増えている。インクルーシブ教育とユニバーサルデザイン等どうやって伝えていくかそのノウハウがない。ぜひ協力いただきたい。

8 第3回学校協議会の予定について

2月19日(木) 15時30分から図書室で予定しています。